

2013/07/23

大阪大学 蛋白質研究所セミナー「世界をリードするNMRとその科学技術・社会へのインパクト」開催のお知らせ

大阪大学 蛋白質研究所 藤原敏道

日時：2013年8月5日（月）・8月6日（火）

場所：千里ライフサイエンスセンター 501-503 会議室（千里中央）

セミナーの趣旨

NMRは、原子分解能での構造や運動性の解析法として、蛋白質構造や材料の解析に利用され、大学等の研究機関だけでなく、化学、製薬、材料、食品など広い産業分野の企業にも装置が導入されている。先端的なNMR装置は大型化し、その維持管理以外に試料調製とデータ解析技術の専門性のため、目的や地域を考慮して集積して管理共用することが有効である。このために、横浜理研、横浜市大、蛋白研が連携するNMR共用プラットフォーム事業など全国の特徴のある施設で装置の共同利用が進んでいる。一方、マイクロ波、マグネット、コンピュータ、データ解析、試料調製などの進歩とともに、磁気共鳴法は他では得られない多くの情報をもたらすようになり、先進的な科学技術の発展に不可欠になっている。この発展で世界のリーダーシップを取るためには、応用とともに、応用に開発が結びついた体制を全国的に整備し、先端的磁気共鳴装置を含む技術を我が国でいち早く開発し実用化することが重要である。このセミナーでは、磁気共鳴の課題、我が国の強い技術基盤に基づいた世界をリードする磁気共鳴法とその科学技術・社会への波及について議論し将来を展望する。

プログラム：<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/jpn/seminar/IPRseminar2013.8.5-6.pdf>

世話人：藤原敏道・児嶋長次郎（阪大 蛋白研）、木川隆則・前田秀明（理研）、西村善文（横浜市大）

連絡先：〒565-0871 吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所 藤原敏道

懇親会：2,000円